

扶蘇山城(別名=サビソン[泗沘城])(世界遺産)(韓国・忠清南道(チュンチョンナムド)扶余郡(プヨゲン)扶余邑(プヨウプ)雙北里(サンブンニ)山4)

プヨの北に流れる白馬江(ペンマガン、昔の「白村江」)の川辺にそびえている小高い山、"扶蘇山"に建てられた山城。昔の百済の都の中心地で、サビソン(泗沘城)ともいわれています。1963年に史跡第5号に指定されました。山には遊歩道がちゃんと整備されていて、地元の人々の散歩道にもなっています。案内板に従って山の中を歩いていると、空気がキレイなのはもちろん、木陰は涼しくて秋には紅葉狩りにもぴったり。山腹の東屋、半月楼があるところから山頂までの約600mの山城内には軍倉址や迎日楼などがあり、土築城壁もそのまま残っていると。

ソウルナビによる

